

## 【第1号議案】平成28年度事業報告について

### 平成28年度事業報告

#### 1 総会の開催

##### (1) 総会

大分県医療ロボット・機器産業協議会の事業計画等を会員へ報告するため総会を開催した。

開催日：平成28年6月13日（月）15：00～15：30

場 所：大分オアシスタワーホテル

#### 2 医療産業参入促進セミナー等

##### (1) 医療ロボット関連産業振興セミナー

医療関連機器や医療・福祉用ロボット産業を取り巻く社会環境や、参入事例についてセミナーを開催した。

開催日：平成28年6月13日（月）15：00～17：30

場 所：大分オアシスタワーホテル

参加者：110名

概 要：講演Ⅰ 「医療・福祉・介護市場への挑戦

～ヒューマトロニクス事業の創造～」

株式会社安川電機 理事 経営企画部

オープンイノベーション推進室長 古瀬 利博 氏

講演Ⅱ 「経済産業省における医療機器政策について」

経済産業省 商務情報政策局

医療・福祉機器産業室 室長補佐 向野 陽一郎 氏

交流会

##### (2) 展示・商談会

東九州メディカルバレー構想の情報発信や会員企業の新製品の販路開拓のため、宮崎県・HAMIQ等と連携し、展示会・商談会へ参加した。

###### 【HAMIQ等との連携事業】

○国際福祉機器展2016 平成28年10月12日～14日

参加企業；(株)テオリック、(有)ビューティフルライフ

○医療機器メーカーとの技術展示・マッチング会in本郷

平成28年11月9日

参加企業；(株)エイビス、(株)キャム、中央発条工業(株)、ヘルメット潜水(株)

###### 【単独展示】

○第34回大分県病院学会 平成28年11月13日

参加企業；大分ロボケアセンター、(株)エイビス

### (3) 東九州メディカルバレー構想推進大会

東九州メディカルバレー構想の具体化を図ることにより、産業の集積と地域の活性化を一層推進するため、東九州メディカルバレー構想推進会議と共催で構想推進大会を開催した。

開催日：平成29年2月8日（水）14：30～17：30

場 所：レンブラントホテル大分

参加者：183名

概 要：第1部 基調講演

「東芝メディカルシステムズにおける医療機器産業戦略」

東芝メディカルシステムズ株式会社

代表取締役社長 瀧口 登志夫 氏

「経済産業省における医療機器産業政策について」

経済産業省商務情報政策局医療・福祉機器産業室

室長 遠山 毅 氏

第2部 医療機器産業新規参入促進セミナー

「中小企業による医療機器産業参入のキーポイント」

宇喜多白川医療設計株式会社

代表取締役社長 宇喜多 義敬 氏

「安全な骨切削とは／「月光ドリル」が医師から支持

される理由（医療機器産業に参入して）」

株式会社ビック・ツール

開発部 部長 木村 勝世 氏

## 3 研究開発・普及促進補助事業

### (1) 医療機器研究開発補助事業費補助金

大学、医療機関及び県外企業等と連携した会員企業の新たな医療・福祉機器、ロボット開発に要する経費に対し助成を行った。

対象事業：「リハビリテーション効果を発揮する後付け式の車いす用足漕ぎユニットの研究開発」

株式会社AKシステム

「下肢障がい児向け操作型移動訓練装置の開発」

株式会社ブライテック

「要介護が不意に徘徊することを検知する装置「ドアガード」の開発」

有限会社大分サーバー

### (2) 県産新医療・福祉機器等普及促進補助事業費補助金

医療・福祉機関が会員中小企業の新製品等を導入する経費に対し助成を行った。

対象者：県内の医療・福祉施設16機関

登録機器：11機種

## 4 専門家派遣事業

### (1) 大分県医療機器開発コーディネーター派遣

機器開発から販売までの各分野の専門家をコーディネーターとして委嘱し、会員企業の参入ステージに応じたコーディネーターを派遣した。

- 池田 喜一 氏 (元(独)産業技術総合研究所産学官連携推進部門コーディネータ)
- 吉田 安幸 氏 (元旭化成(株)専務取締役)
- 株式会社アステム

## 5 医療・福祉機器等機器開発ワーキング

### (1) 看護関連機器開発部会の設置

医療、介護、福祉機器分野のみならず、看護分野での産学官連携を推進し、医療関連産業の集積を図るとともに、「我慢させない看護」の実現を目指して、協議会内に看護関連機器開発部会を設置した。

設立準備会合：平成28年11月24日

キックオフフォーラム：平成28年12月18日

講演：「看護学におけるイノベーション

ー療養生活支援とモノづくりー」

東京大学大学院医学系研究科

老年看護学・創傷看護学分野教授

真田 弘美 氏

事例報告：県立看護科学大、県病、県内企業等

### (2) ニーズ探索会

会員企業の新規の機器開発案件を探すため、医療機関と連携してニーズ探索会を実施した。

- ・大分リハビリテーション病院ニーズ探索交流会

開催日：平成29年1月30日

場 所：大分リハビリテーション病院 (旧大分東部病院)

参加者：70名

概 要：医療現場等からのニーズ発表

(大分リハビリテーション病院、井野辺病院、畑病院 ほか)

3次元動作解析装置の概要と活用への期待

施設見学

意見交換・名刺交換

- ・大分県立病院ニーズ探索交流会

開催日：平成29年3月28日

場 所：大分県立病院

参加者：120名

概 要：看護現場等からのニーズ・シーズ発表

(県病看護部、(株)アステム、看護科学大、県内企業3社)  
県内企業製品展示(6社)  
意見交換・名刺交換

### (3) ロボット関連ニーズ探索

協議会においてHAL®腰タイプをレンタルし、病院・介護施設等での実証事業や展示会への展示等を通じ、会員の周辺機器等の研究開発に活用したほか、HALFITツールの取組のPR等にも活用した。

### (4) 機器開発ワーキンググループ

開発ニーズと会員企業とのマッチング率を向上させるため、ニーズを元に機器開発を行うワーキンググループの活動を支援した。

テーマ:「超高齢化社会のくらしの質の向上につながる「ものづくり」

参画企業・団体等: 一般社団法人大分県工業連合会三次元技術研究会、  
日本文理大学、県立芸術文化短期大学、県立看護科学大学、大分東部病院

### (5) 販路開拓支援

これまでの研究開発補助金等で開発した機器の販路開拓のため、PRパネルの製作や東九州メディカルバレー構想推進大会での展示などを行った。

## 6 HALFIT®ツールズ推進事業

### (1) 海外向けPR用動画等作成

HALFIT®ツールズを国内外へ情報発信するため、4カ国語(日本語、英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語)に対応したPR用動画とパンフレットを制作した。

なお、PR用動画については、協議会ホームページやYoutubeで公開中。

### (2) 大分県海外プロモーションへの参加

大分県が実施した台湾プロモーションに参加し、HALFIT®ツールズの情報発信を行った。

## その他

○大分大学医学部臨床医工学センターが実施する「国産医療機器創出促進基盤整備等事業」や大分県医療介護ロボ・HAL®研究会との連携を行った。

○大分県が宮崎県、福岡県と連携して実施した「九州連携医療機器産業拠点形成事業」へ参画した。

【第2号議案】平成28年度収支決算について

平成28年度収支決算

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

1 収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	差引額 ②-①	備 考
1 負担金収入	33,958,000	32,270,000	△ 1,688,000	県負担金の減
2 雑 収 入		76	76	
当期収入合計	33,958,000	32,270,076	△ 1,687,924	
前期繰越金	680,307	631,130	△ 49,177	
収入総合計(A)	34,638,307	32,901,206	△ 1,737,101	

2 支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	差引額 ②-①	備 考
1 協議会運営	520,948	306,263	△ 214,685	
食糧費	3,000	58,832	55,832	
その他需用費	60,000	20,255	△ 39,745	
役務費	75,438	165,930	90,492	振込手数料の増
委託料	297,150	8,640	△ 288,510	HP更新委託の節減
使用料及び賃借料	45,360	9,606	△ 35,754	
負担金	40,000	43,000	3,000	
2 医療産業参入促進セミナー等	2,431,879	1,764,645	△ 667,234	
報償費	300,000	67,000	△ 233,000	
旅費	192,000	142,280	△ 49,720	
食糧費	102,500	230,001	127,501	セミナー経費の節減
その他需用費	680,307	392,666	△ 287,641	
使用料及び賃借料	657,072	432,698	△ 224,374	
負担金	500,000	500,000	0	HAMIQ会費
3 研究開発・普及促進補助事業	24,127,500	16,402,010	△ 7,725,490	
報償費	24,900	49,800	24,900	審査会開催数の増
旅費	2,600	4,920	2,320	
補助金	24,100,000	16,347,290	△ 7,752,710	研究開発・普及促進補助金等の減
4 専門家派遣事業	2,536,960	926,114	△ 1,610,846	
報償費	1,760,000	661,642	△ 1,098,358	
旅費	512,000	68,122	△ 443,878	専門家派遣案件の減
使用料及び賃借料	264,960	196,350	△ 68,610	
5 医療・福祉機器等機器開発ワーキング	2,326,020	1,554,933	△ 771,087	
報償費	24,000	0	△ 24,000	
旅費	9,300	0	△ 9,300	
使用料及び賃借料	1,242,720	1,404,933	162,213	グループ組成の減
補助金	600,000	0	△ 600,000	
交付金	450,000	150,000	△ 300,000	
6 HALFITツーリズム推進事業	2,695,000	2,952,983	257,983	
旅費	300,000	375,680	75,680	
委託料	2,395,000	2,577,303	182,303	パンフレットの多言語版作成
当期支出合計(B)	34,638,307	23,906,948	△ 10,731,359	
当期支出差額(A)-(B)	0	8,994,258	8,994,258	